

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	山田真一郎	経理責任者	山田真一郎
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	令和3年7月7日 ～ 令和3年7月8日			
視 察 先	三次市役所 会議室			
視 察 用 務	全国地方議会サミット2021			
視察先対応者	ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会			
概要及び所見	<p>『議会からの政策サイクル』とチーム議会の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会が実践すべき理想の姿 ・協働型議会 ・市議会が実現すべき責務 <p>『オンライン議会の成果と課題』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン委員会 ・オンライン現地調査 ・市民との意見交換会 ・オンライン行政視察 <p>議会がすすめる DX</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民データ活用方法 ・デジタル化推進特別委員会 <p>地域における DX</p> <p>議会からの政策サイクル</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会活動の何を評価するのか <p>社会の変革とこれからの地方自治を展望する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍への対応から見てきたこと <p>議会の政策立案にプロセスにおける議員との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チーム議会 ・ 補助機関による補佐のあり方とは ・ 旧来の事務局職員論への疑問 <p>議会事務局提案制度</p> <p>社会の変革に対応する自治体と議会の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポストコロナの地方創生 ・ 脱炭素化の潮流と自治体の取り組み ・ デジタル化と自治体の対応 ・ 生産性向上を図る ・ 地方自治体と地方分権 <p>《考察》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体この度のセミナーは講師の方が多数おられ、かなりの数の自治体の政策や事例を聞くことが出来ました。 <p>各自治体の先行した好事例の話が主でしたが、比較することにより三次市が全国的にどのあたりにいるのか認識できました。</p> <p>例えば、タブレットの導入は比較的には早い方だが脱炭素への取り組みは少々遅れ気味ではないかと感じました。</p> <p>見本があれば、新しい政策も成功率が上がり効率的に進めることができるので、さらに調査していきたいと考えます。</p>
--	---